学校番号	413

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	詳述歴史総合　（実教出版）						
副教材等	新詳歴史総合　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現在世界や日本で起きている様々なことに関心を持ち、その歴史的背景や課題を考える習慣を心がけてください。その過程で生じた疑問は授業を通して解決できるようにしていきましょう。
・史資料から読み解く力が必要となるので、「なぜこの絵はこのような構図なのか？」や「この統計からわかることは何か？」と主体的に思考しましょう。
・史資料や起きた出来事に対し、しっかりと自分の意見や考えを持ちましょう。また、他人の意見を受け入れ、尊重できる素養を身に付けよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用し多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	19 世紀の欧米諸国による国民国家形成に向けた動き、帝国主義の時代の欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、第一次・第二次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、冷戦下の世界における国際関係の変化、冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解することができている。	19 世紀の欧米諸国による国民国家形成に向けた動き、帝国主義の時代の欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、第一次・第二次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、冷戦下の世界における国際関係の変化、冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化に対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて試行し、複数もしくは一つの根拠を基に判断・表現できている。	19 世紀の欧米諸国による国民国家形成に向けた動き、帝国主義の時代の欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、第一次・第二次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、冷戦下の世界における国際関係の変化、冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化に対する問いに対して、粘り強く自ら答えを出そうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　近代化と私たち	・ヨーロッパの海外進出と市民社会 ・清の繁栄 ・東アジア諸国間の貿易 ・江戸時代の日本の対外政策 ・欧米の市民革命と国民国家の形成 ・19 世紀のイギリスとフランス	a:18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。 b:産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うととともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

		・東方問題と 19 世紀のロシア ・アメリカの発展と分裂 ・アジアの変容と日本の近代化 ・アヘン戦争の衝撃 ・ゆらぐ幕藩体制 ・新政府の成立と諸改革	a:南北の対立の要因について，奴隷問題、イギリスとの経済関係など南北の違いについて整理してまとめることができる。 b:産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 19 世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとととともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

2学期		・帝国主義の時代 ・帝国主義と世界分割 ・条約改正 ・日清戦争 ・日露戦争から韓国併合へ	a:列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 b:帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：19 世紀末～20 世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	・国際秩序の変化や大衆化への問い ・第一次世界大戦 ・政党内閣の時代 ・経済危機と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦とアジア太平洋戦争	a:第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b: 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から、情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

3学期		・国際連合と戦後世界 ・冷戦の開始	a:国際連盟の資料や記述をふりかえって、国際連合と国際連盟を比較して、大戦後の平和をめざす試みやアメリカの関与の仕方のちがいなどについてまとめることができる。 b:ブレトン=ウッズ体制や自由貿易体制と戦争の防止について、資料を活用して大戦と恐慌の関係について協働的に考察し、適切に表現している。 c:史料のベトナム独立宣言を活用して、アメリカ独立宣言の普遍性とその意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート
	第3編　グローバル化への問い	・冷戦と脱植民地化 ・米ソ両陣営の動揺 ・多極化する世界 ・グローバル化と現代世界	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解している。 b:アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:1989 年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとととともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 確認テスト	定期考査 プリント	プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度